

✚ 看護の視点が 薬物治療を変える

看護薬理学 カンファレンス

2022 in 横浜 The Nursing Pharmacology Conference
2022

2022 11/20 (日) 9:00 – 17:00

WEB開催 & オンデマンド配信

カンファレンス終了後の2週間(11/21～12/5)はオンデマンド配信します

カンファレンス大会長



赤羽 悟美

(日本薬理学会理事)

細胞機能を操る細胞内
Caシグナル研究の第一人者

参加費 2,000円

参加登録

参加申込: 事前登録必須

登録期日: 11月18日(金)まで

受講対象

定員: 300名(先着順)

看護職を主な対象としますが、看護職以外の方の受講も歓迎いたします。

※ 薬理学会非会員の方は、看護薬理学カンファレンスHPから事前申し込みの上、参加費のお振込をお願いします。

※ 薬理学会会員ならびに第96回日本薬理学会年会・第43回日本臨床薬理学会学術総会の参加登録者は参加費無料です。

http://npc.ssrj.jp/guidance/place/yokohama_2022.html

2022 11/20 (日) WEB開催 & オンデマンド配信

プログラム

看護薬理学カンファレンス開会式

9:00

■ シンポジウム1

9:10~10:40

小児がんの子どものQOLを支える症状マネジメント —“食と栄養”に焦点をあてて—

座長：野間口 千香穂先生 / 古橋 知子先生

(宮崎大学医学部 看護学科 教授) (福島県立医科大学 看護学部 准教授)

1 『がん薬物療法による悪心・嘔吐の制吐療法』

小林 正悟先生(福島県立医科大学附属病院
小児腫瘍内科 学内講師)

2 『小児がんの治療中・治療後の口腔内管理』

馬場 園恵先生(宮崎大学医学部附属病院歯科口腔外科・
矯正歯科 主任歯科衛生士)

3 『化学療法中の子どもが食べられない時どうしている？ 多職種で行う協働ケア!』

坂田 友先生(九州がんセンター 小児看護専門看護師)

■ シンポジウム2

13:00~14:30

分娩と産痛緩和について

座長：井村 真澄先生 / 江藤 宏美先生

(日本赤十字看護大学大学院 国際保健助産学 教授) (長崎大学 生命医科学域 教授)

1 『硬膜外麻酔分娩

—女性は本当に自己決定しているのか?』

大石 時子先生(高崎健康福祉大学 教授)

2 『SDGs・人口減少社会における出生と麻酔分娩

—社会デザイン学の視点から』

菊地 栄先生(立教大学大学院 兼任講師)

■ 特別講演

11:00~12:00

(共催:株式会社ツムラ)

『妊婦さんと漢方薬 ~基礎から応用まで~』

永松 健先生(国際医療福祉大学成田病院 産婦人科 教授)

※当日配信のみ

■ 看護薬理学教育セミナー1

14:40~15:40

『授乳と薬物』

伊藤 直樹先生(帝京大学附属病院小児科 講師)

■ 看護薬理学教育セミナー2

15:50~16:50

『腸内環境の発達と母乳由来プロバイオティクス』

倉原 琳先生(香川大学医学部生理学講座 准教授)

「CLoCMiP®レベルIII 認証申請」
対象研修について

▶ アドバンス助産師更新要件の選択研修

「特別講演」「シンポジウム2」

「看護薬理学教育セミナー1、セミナー2」

閉会式

16:50

【参加登録】

参加申込:事前登録必須 登録期日:11月18日(金)まで

期日までに、ホームページ内の登録画面よりお申し込みの上、参加費の振込をお願い致します。(先着300名)。薬理学会会員ならびに第96回日本薬理学会年会・第43回日本臨床薬理学会学術総会への参加登録者は参加費無料です。詳しくはカンファレンスHPでご確認ください。



お問い合わせ先

看護薬理学カンファレンス事務局

担当: 宮崎大学医学部看護学科臨床薬理 柳田俊彦 宛

npc_info@pharmacol.or.jp

※メールの件名には「看護薬理学カンファレンス2022 in 横浜」とご記入ください。

本カンファレンスは下記学会のサテライト企画として開催されます